

文教委員会とは

教育現場と共に、未来を創る

組織説明資料



深刻化する社会課題

小中高生の自殺者数が
過去最多を記録

(1980年以来の統計で最悪の水準)

私たちの役割



教育現場を通じて純粹倫理を普及
日本の道義を革新する

目指す未来：次世代による「日本創生」

文教委員会の目的・使命・方針



【目的】日本創生

社会問題として深刻化している小中高生の自殺者数削減に取り組む



【使命】道義の革新

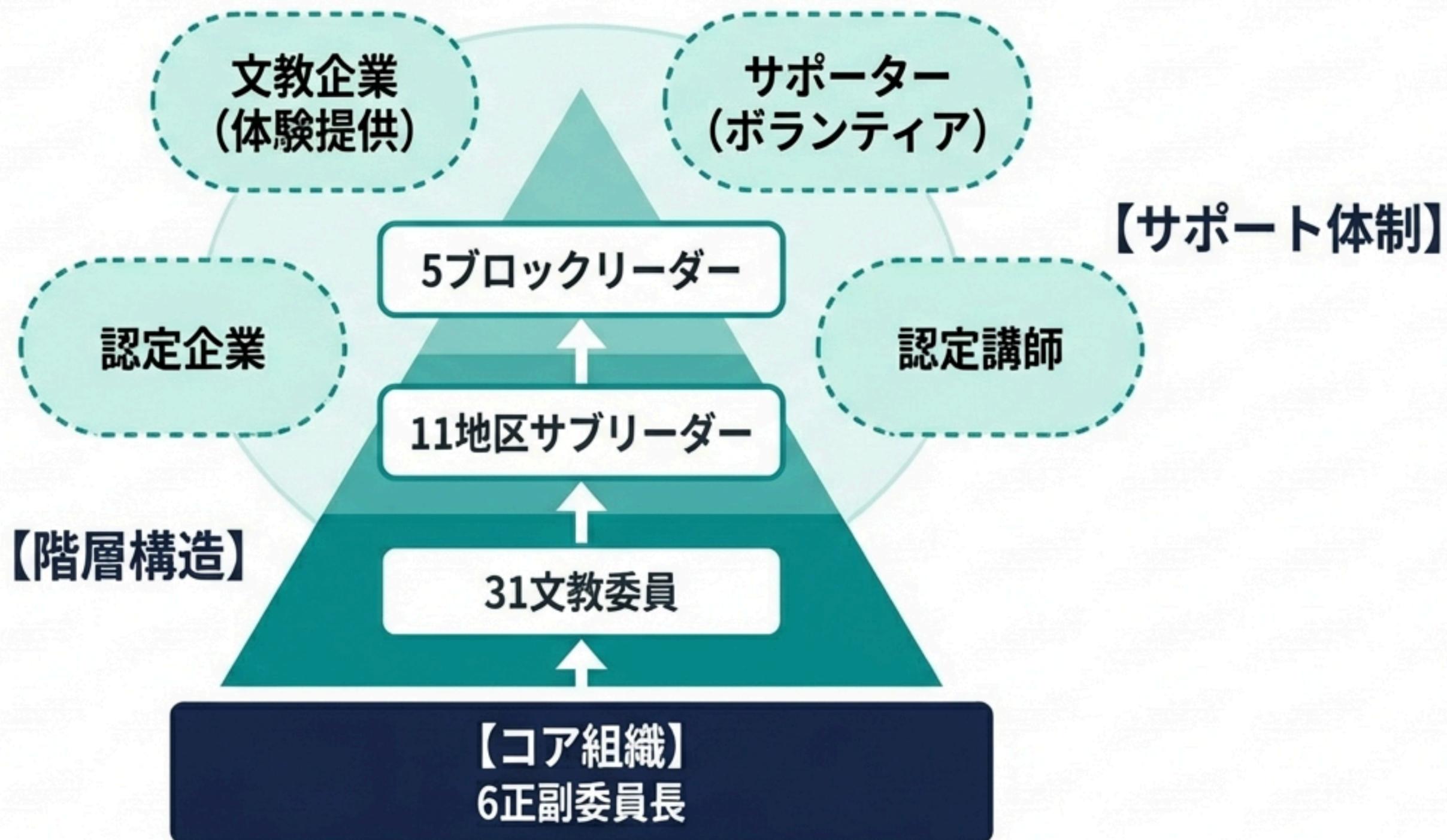
教育現場を通して純粋倫理を普及し、日本国の道義を革新する



【方針】

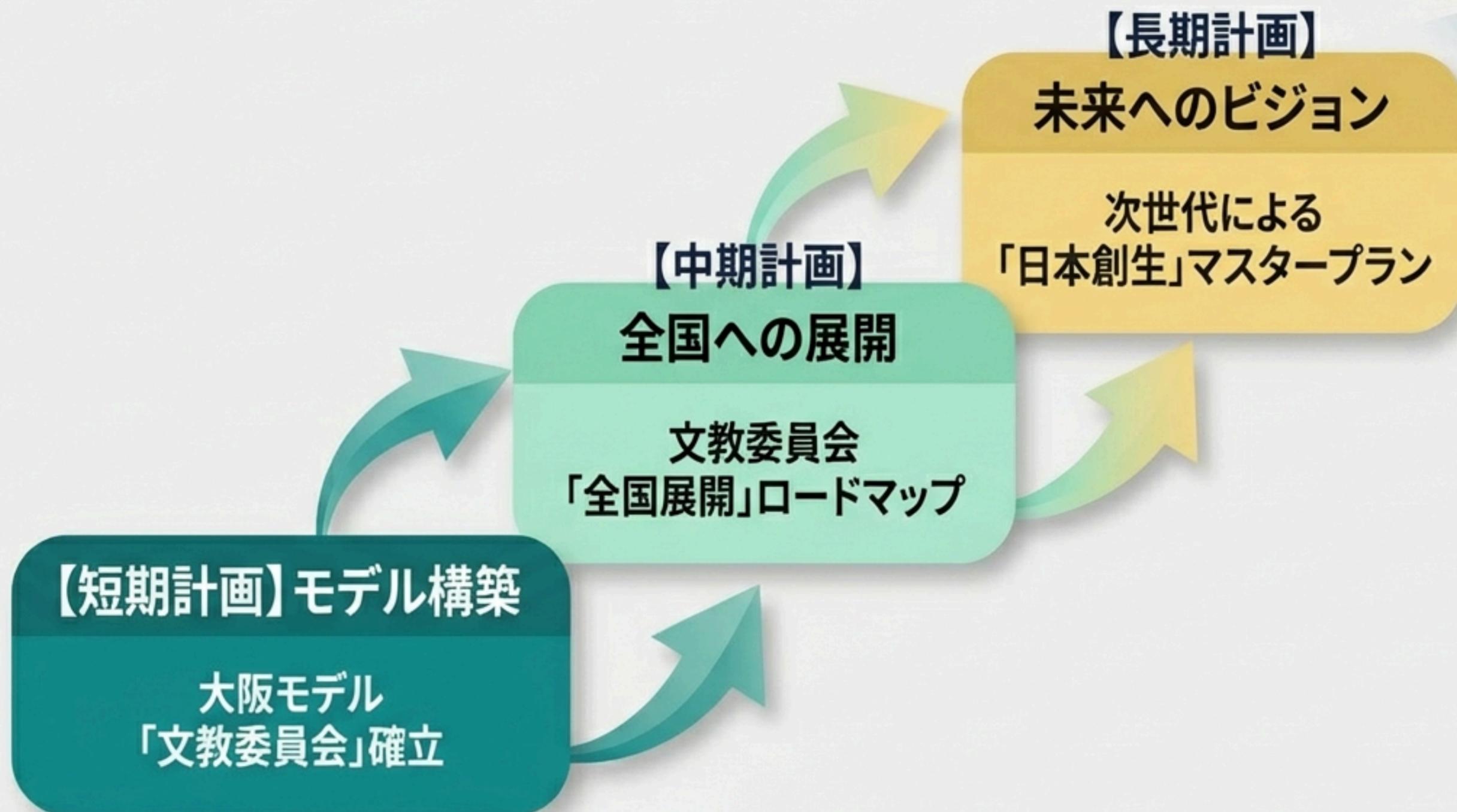
1. 活動の可視化
2. 文教のブランド化
3. 全員が喜働する委員会

組織構成



活動の3つの計画

未来



私たちの活動

【提供する商品・サービス】



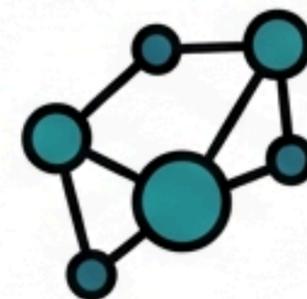
- ✓ ・ 出前授業（挨拶実習）
- ✓ ・ 職業体験・職場見学

【主な活動イベント】



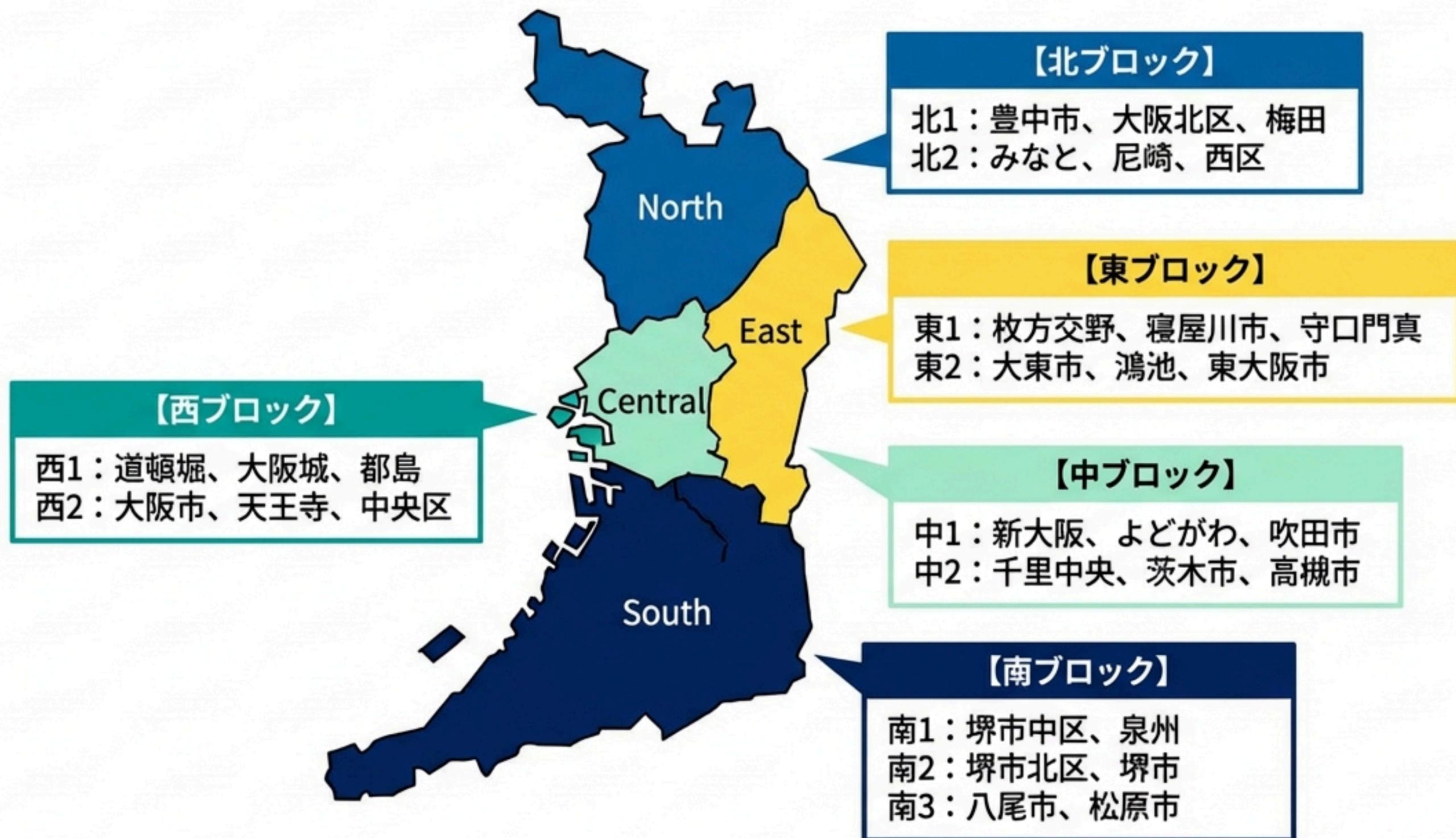
- ✓ ・ おしごとマルシェ
- ✓ ・ オモロー授業発表会
- ✓ ・ センセイの集い（予定）

【連携先】



- ✓ ・ 学校（小学校/中学校/高校/大学）
- ✓ ・ 教育委員会 / 商工会 / escoco
- ✓ ・ 企業・団体・個人
- ✓ ・ 倫理法人会（大阪4,300社 / 全国73,000社）

活動エリア（大阪5ブロック11地区）



私たちの強み



【強み1】 道德・倫理実践経営者 による社会教育団体

実践者だからこそ伝えられる
「生きた学び」を子どもたちに届けます



【強み2】 47都道府県ネットワーク

倫理法人会の全国組織を活用し、
地域に根ざした活動を展開

大阪 4,300社 / 全国 73,000社

活動の成果（子どもたちの声）

【小学生の感想】



“道徳の授業で挨拶実習をみんなでやったのがとても元気になって気持ちよかった”

【中学生アンケートより】



“将来について前向きに考えるきっかけになった”

【文教認定企業の期待】



“職業体験や職場見学を通じて地元の高校生の採用につながる可能性”

認定制度

【文教認定企業】



地域社会の発展と美しい世界づくりに貢献することを証するライセンス

- 教育現場（青少年）貢献度
- 推進度（計画策定等）
- 社会貢献度

【文教認定講師】



文教委員からの推薦を受け、厳正な審査を経て認定

- 企業文教実践度
- 出前授業の実施状況
- 社員育成、地域貢献

【法人レクチャラー】



倫理研究所が認定する
企業倫理の実践者

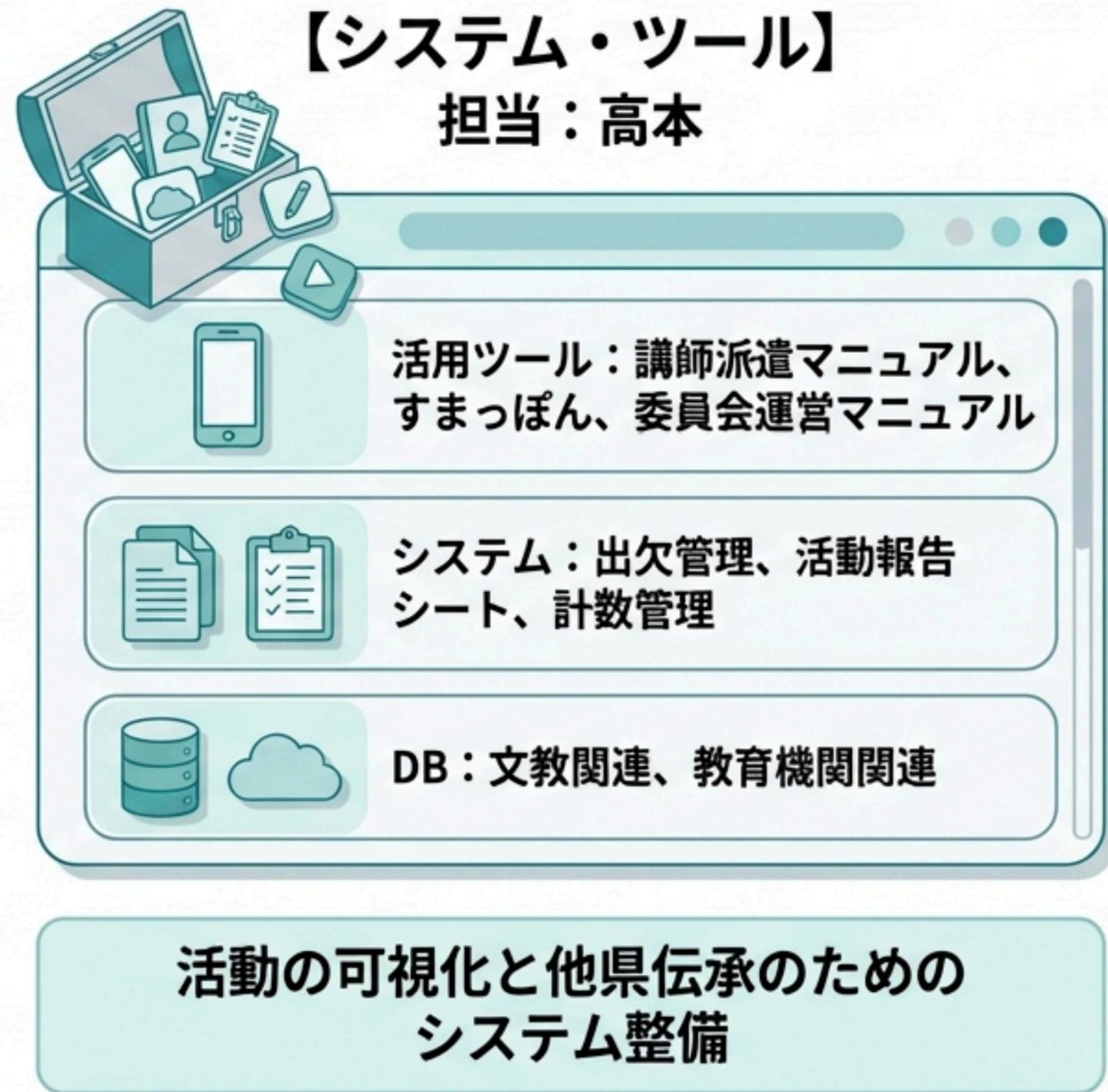
運営とツール

【運営体制】



【システム・ツール】

担当：高本



開拓戦略

【教育委員会との関係構築】



対象：大阪府40市町村の教育委員会

※勝負期間：1月～3月（4月新学期に向け）

【escoco（エスコ）の活用】



教育現場と社会をつなぎ、子どもたちの社会適応能力（非認知能力）を育むマッチングプラットフォーム。

・社会人トーク ・特別授業 ・社会的・職業的自立をサポート

全員経営の実践

組織関係者一人ひとりが主体的に実践する



子どもたちのため



地域社会のため



日本の未来のため

私たちが目指すもの

文教委員会は、教育現場を通じた純粹倫理の普及により、子どもたちの健全な成長と日本の道義の革新を目指します。

全員が喜働する組織づくりを通じて、
次世代による「日本創生」を実現する